

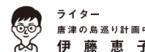


市民ライターがつくる。さがん街なかMAP



03 松原川沿いの石畳を踏み、安らぎのひとつ

子どものいる専業主婦の転妻さん向け



ライター 藤津の鳥遊り計画中 伊藤 恵子

佐嘉神社・松原神社のそばを流れる松原川は、河童が住む清流と呼ばれています。子育てで忙しい中、一人のんびりする時間ができたら、川沿いを散歩してみませんか。歩道・車道ともに石畳が敷かれ、ガス灯風のレトロな街灯があるなど情緒に富むこの通り。樹木が多く、苔むした石垣の護岸やツル植物に覆われた石橋など歴史を感じさせる景観が続いています。個人的に穴場だと思っているのが「藤棚」。パルンミュージアムよりずっと西、昔のニチュウボウルのあたりにあるのですが、ここでランチすると素敵ですね（ただし近隣は居住エリアなのでマナーに注意!）。そしてそこから東に進んでいくと、写真館や飲食店の老舗が並ぶ一方、个性的な新顔店舗も登場してきます。



藤棚の下でランチとか(マナーに注意)



握手すると何かが起こる!河童は市民の人気者



今日の昼ごはん、サギ君の日常のひとコマ



飛び石は大人もつい渡りたくなります

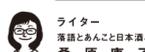


ギャラリーシルクロさんの入り口が黄色に! 冬は赤い色が映えますね

のんびり歩くうちに鳥のさえずりが聴こえたら、神社はすぐそこです。市民の祈りの場は鳥の暮らす場所でもあるのです。雨の日であれば、神社に近づくほど雨音が柔らかく反響して聴こえることに気づきます。そんな中、神社そばの out of coffee で一服。店舗前面のウィンドウが大きく、松原川の水面や楠の大木を眺めながらコーヒーを味わえます。また、2階のギャラリーシルクロに寄ってアート鑑賞するのも素敵。日頃子育て等で忙しい日常の中に訪れる、ふっと肩の力を抜ける瞬間。松原川沿いを歩けば、それを体験できることでしょう。

04 自転車で街を巡って新たな発見! 街なかガッツと身近に

夫婦お二人の転妻さん向け



ライター 藤津とあんこと日本酒と 藤原 康子

佐賀市に引越してきて半年の頃……私が覚えたのは、会社とスーパーと緊急時のための病院、映画館にスタバくらい。街なかって気になるけど、道が狭くて一方通行が多いなあ。



自転車で恵比須八十八か所巡りへ!



ひぜんえびすやさんの前にある恵比須さん

そんな時に佐賀駅で見かけた、恵比須さんの像。どうしてこんな場所に? 観光案内所できいてみると、佐賀市は日本一恵比須さんが多い街。「恵比須八十八か所巡り」というスタンプラリーがあってスタンプを集めると、開運さが恵比須ステーションという場所で記念品がもらえるとのこと。なんだか面白そう! ご利益もありそうだし! 専用の通い帳をもらって、自転車で出発しました。

通い帳の地図を見ながら探していると、ちょっとした探検気分です。恵比須さんにお参りして、スタンプを世話人さんのお店でいただきます。お店には、和菓子店や食堂、落ち着いたカフェ……、そしてミニシアターまであります。今まで車でビューッと通り過ぎていた道も、自転車でゆっくり巡ると色々な発見がありました。街なかガッツと身近になったのも、恵比須さんのおかげです。

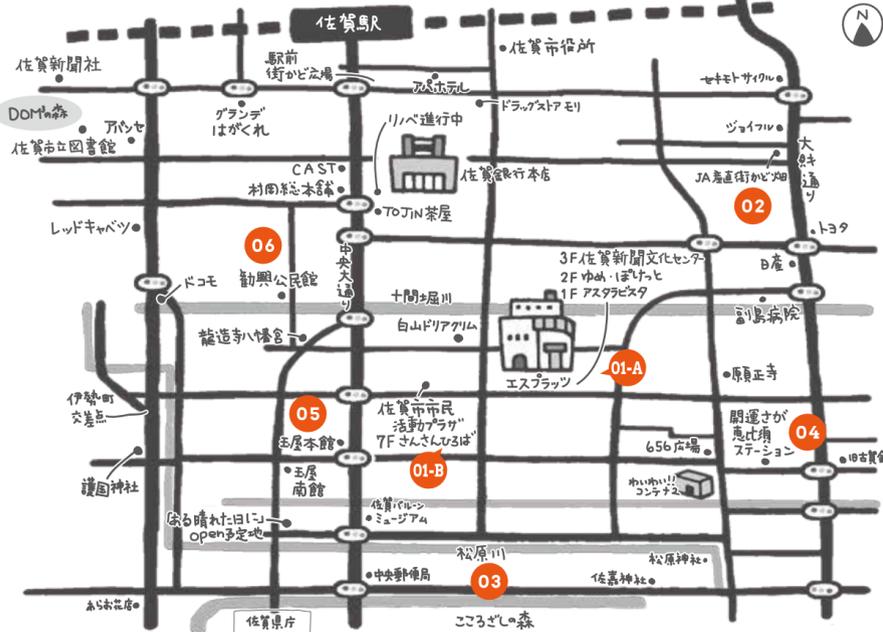


ebisu うんちく

「宝珠」をさわって、運氣アップ

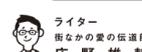
恵比須像には、胸や烏帽子に、栗のような「宝珠」がついている恵比須さんがいます。「宝珠」にさわると幸せになると言われています。

[INFORMATION] 開運さが恵比須ステーション ☎0952-40-7137 ●佐賀市興元町7-39 ●営業時間/10:00~17:00 ●定休日/月曜、年末年始 ●駐車場/なし



05 『特別な日』のために佐賀唯一のデパートにチャレンジ

夫婦お二人の転妻さん向け



ライター 街なかの愛の伝道師 庄野 雄輔

佐賀のデパートと言えば、「佐賀玉屋」です。そして玉屋のデパート地下と言えば、通称「玉ちか」。2010年の館内リニューアル時に名付けられたそうです。そこで今回は、夫婦お二人で佐賀に引越して来られた転妻さんに向けて、そんな玉ちかの魅力を紹介したいと思います。

やはりデパートは、「ちょっと食材にこだわりたいとき」や「特別な日」に向けて使いたいものです。そこでまずは鮮魚売場へ行くのをおすすめします。天候によりありますが、普通のスーパーではなかなか手に入らない魚、玄海や有明海もの等新鮮な海産物がずらり。また、オリーブオイル等の調味料やチーズ・バター等の乳製品の種類も充実していますし、肉料理なら佐賀牛はもちろん外せませんよ! あと、毎道の駅から直送される新鮮野菜もあるので、ワンストップで「ちょっといい一日」を過ごせる食材が揃うはず。ちなみに最近ではリーズナブルさも売場や企画に反映されているようです。例えば、知る人ぞ知る、月一回の「店休日前日の玉ちか」。この日は普段なかなか手がでない「ちょっといい食材」も、モノによってはいつもよりリーズナブルになります。佐賀に来てまだ日が浅いけど、佐賀でちょっといいものを買える店を探している! という転妻さん。まずは「玉ちか」からスタートしてみたいかがでしょうか?

[INFORMATION] 佐賀玉屋 ☎0952-24-1151 ●佐賀市中の小路2-5 ●営業時間/10:00~18:30 ●定休日/HPで確認 ●駐車場/佐賀玉屋駐車場(駐車サービスあり)



鮮魚売場「小松鮮魚」

道の駅直送の新鮮な野菜



たまには佐賀牛に舌鼓

健康志向に合わせてグラノーラも種類豊富



オリーブオイル選びもレジビに合わせて! 連絡通路の表示。駅のホームみたい

玉屋 うんちく

にこたま通り

佐賀玉屋の本館と南館を結ぶ連絡通路下の道路には「にこたま通り」という名があるんです。公募で決定されました。

06 小さな子連れには暮らしやすい佐賀

子ども連れの転妻さん向け



ライター レトロ好き転妻 大坪 美和

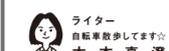
佐賀市在住3年目、未就学児を持つ私自身の視点で、佐賀の街なか子育てスポットをご紹介します。

近所にある勤興公民館や赤松公民館では、未就学児対象の広場開放日があり、同じ年代の子供達やママさん、ベテランお助けママさんと交流でき、夏にはプール、クリスマスにはサンタさんが来たりと、季節に見合った楽しみが用意されています。その他、託児付きの講座や料理教室などもあり、子育ての息抜きになります。あとエスプラッツ内にあるめばえ教室や佐賀新聞文化センターの習い事(子供も大人も)は種類が多く、趣味や習い事の視野も広がります。そしてたまには DON3 の森へ。市立図書館では子供の読み聞かせを行う日が出ており、絵本コーナーも充実しています。隣接する芝生広場では休日に大規模なマーケットが開催されることも多く、子連れで楽しめるイベントが盛り沢山。晴れた日にはお散歩やサイクリングも◎だと思います。

こんなふうに、佐賀は狭い範囲内で子供と楽しめる暮らしやすい土地なんです!

元佐賀の転妻さんからのメッセージ

2013年、関東からだんさんの転勤をきっかけに来佐。その後2018年に再び「転妻」として佐賀を離れるまでこの地で様々な活動にチャレンジし、佐賀を満喫されたそうです。今回はそんな彼女からメッセージをいただきました。



ライター 自転車散歩してます☆ 木本 真澄

佐賀暮らしは2013年12月~2018年3月。住まいは駅前中央(2013.12~2017.3)と多布施(2017.3~2018.3)

苦労したことといえば、まず「車」と「銀行」。以前は、マンションから200mのところにあったカーシェアリングを利用していたのですが、佐賀暮らしを楽しむには車は必須。早速、車を買うことにしたのですが、銀行振込みをしようにも、それまで使っていた都銀の窓口がなくて、久留米まで行きました。どうせなら筑後平野を眺めてみよう、自転車(スポーツタイプ)で行くことに。見渡すかぎりの田んぼを眺めながら片道約20kmのサイクリングを楽しみました。



休日には佐賀の田園地帯を思う存分サイクリング

それ以来、佐賀の自転車ライフが始まり、佐賀城や図書館、街なかはもちろん、吉野ヶ里公園や武雄温泉にも自転車で行きました。自転車散歩で見つけた「かわらばん」と出会ってから、出版社勤務の経験を活かせる! と思い、ライターとして参加し、素敵なお店を見つけては楽しませていただきました。それから、子育てサポートセンター「ふるはあと」「佐賀県国際交流協会」の多言語ボランティア、「ネイチャー佐賀」「日本ボランティアクラブむつごろう」「げんきな大地 SAGA」といった環境団体や、「玄海原発裁判の会」「さよなら原発!佐賀連絡会」にも参加させていただきました。



多言語ボランティア活動

自然保護活動

新しい土地でいろいろな人と知り合うには、興味のある社会貢献活動にかかわることが一番! 原発のような重たいテーマでも、心温かい佐賀の人たちと一緒に学ぶのは楽しいし、少し大変でも実りある時間になると思います。



子育てサポート活動

市民ライター活動

※玉屋の地下(玉ちか)の絶品グルメは県省のお土産にとっても喜ばれました!

参考情報 街なかバルをきっかけに出会った、また行きたい街なかのお店。

- 緑 ● 申子 ● 酒肴菜飯 志乃 ● VinoBar TOCCO ● 駅前ワイン食堂 BIBI ● SOLE DINER LOOP



SOLE DINER LOOP

VinoBar TOCCO

Pacific Ocean PPA 佐賀市駅前中央1-5-15 モードビル6F 通訳・翻訳 日本語 英語 中国語 韓国語 他 TEL 0952-23-1146 FAX 0952-23-5011 URL pacific.oceanppa.com E-mail pacific@oceanppa.com

choco bar 350円(税別) GRAN オーガニックグラノーラ専門店 TEL 0952-23-5459 OPEN 11:00 - CLOSE 19:00 5-17 Gofukumotomachi, Saga

かわらばん 市民ライター募集中!! 街なかかわらばんの市民ライターになると、ボランティア活動としての市民ライターを通して、取材をきっかけに様々な人のネットワークや、街なかの最新情報がゲットできるかもしれません。また参加したいときにだけ気軽に参加できるのが特徴です。 ●問合せ先/街なかかわらばん編集室(まちづくり機構ユニテスが内) ☎0952-22-7340

かわらばん 広告協賛募集中 街なかかわらばんとは、街で継続的に活動する面白い人々や団体にスポットを当てながら市民ライターさん達により「街なかの日常」の魅力を発掘・発信している紙メディアです。 ●問合せ先/街なかかわらばん編集室(まちづくり機構ユニテスが内) ☎0952-22-7340

TOPICS 暮らしの教室と服飾雑貨のおみせ 『ある晴れた日に』が2/16にOPEN 帆布バッグや織造アクセサリー、ガラスアクセサリー等の販売、そして金継ぎやごぎん刺しといった「暮らしを楽しむ」様々な教室、あとはファッションコンサルサービス「el(エル)」も展開される予定です。詳しくは twitter にて。 [INFORMATION] ある晴れた日に ☎0952-60-2628 ●佐賀市松原1丁目3-15徳久ビル2A ●twitter/aruhare222

TOPICS 『空き家リノベーションワークショップ』唐人町で進行中です。 佐賀市唐人町の旧中溝豆腐の建物。数年前に豆腐屋さんとしては閉店し、長らく空き店舗になっていました。そんな中、空き家問題を地域課題としてとらえ、それを解決するための活動を佐賀で行う NPO 空き家・空地活用サポート SAGA が中心となり、空き店舗の利活用プロジェクトがこの場所でスタートしています。その名も「空ラポ」。その中でまず行われているのが「空き家リノベーションワークショップ」です。これは、工作やDIYが得意な人、まちづくりが好きな方など、みんなで空き店舗に新たなコミュニティスペース&シェアオフィスを創り出そう! というもの。既に12月21日に第一回目が行われ、1月19日に二回目が開催される予定です。そして3月にはOPENするそう。今後も「空ラポ」では、リノベを実施した物件でのイベント開催、物件の利活用を希望する団体とのマッチングも行っていくとのこと。これからの時代、人口減少による空き家・店舗の増加は避けられません。街全体としても利活用が必要と思われる空き家、空き店舗を、一つずつ動かしていくことが非常に重要な時代になってきています。 [INFORMATION] 『空き家リノベーションワークショップ』2回目 ●日時/1月19日(日)9:30~12:30 ●場所/旧中溝豆腐物件(佐賀市唐人2丁目5-18) ●対象/大学生以上 ●参加費/無料 ※浴びてもよい服装で! ●問合せ/NPO 空き家・空地活用サポートSAGA(☎090-6632-3643) ※入居に関する問合せも上記まで。